

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライオンハート菊水		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 10日 ~ 令和7年 3月 3日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 10日 ~ 令和7年 2月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内の広さを活かして、室内でも運動活動が出来る。	児童ひとりひとりにあった活動の提案を行っている。	ご家庭や学校、デイでの取り組みの情報共有を行う。
2	頻繁に意見を伝えあう機会がある。	短時間でもミーティングや会議を行い情報共有を行う。	職員問わずミーティングの議題提案、司会が出来るように行いたい。
3	議題提案から改善策、取組までのスピードが速い。	良いアイデアや提案は実行し、振り返りを行っている。	アイデアや意見が言いやすい環境作りを行なう。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動室の中にクールダウンが出来る空間作りを行いたい。	使用する資材の使用許可。	職員間での意見交換、空間作りの工夫を行う。
2	活動プログラムに偏りがあり、余暇活動のボリュームが課題。	余暇活動の情報不足。	マンパワーを活かして、余暇活動の情報収集に努める。
3	児童対応のスキルアップ。	経験が浅いとマンツーマン対応になりがちになる。	実践で、職員ひとりで複数児童対応が出来るようスキルアップトレーニングを行う。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7年 3月 10日				
ライオンハート菊水						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	施設の広さに対して、児童の人数が多く、十分な支援が出来ていないと感じる事がある。	施設内の広さを考慮した活動や活動展開の方法を職員間でアイディアを出し、充実した支援を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2	来所児童に、職員が対処出来ていない時がある。単純な比率だけでは判断は難しい日もある。	活動表を活用し、ひとりひとりに対応出来るよう計画を立てて活動を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	他児から離れて気持ちを静める空間、身なりを整える場所があると良い。	施設内の空間を利用し、簡易的な個室の空間を作る事が出来ます。イスの活用、のれんの活用。ある資源を有効活用し、空間作りを行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	2	冬季暖房が不十分で床も冷たいので裸足で活動するのが難しい。職員も自前のスリッパ等で対応している。クールダウン出来る場所があると良い。	施設内は換気を行っている為、児童・職員は暑脱出来る衣類で調整しています。活動によっては児童の希望で裸足で活動しています。職員が児童の手足の体温確認を行い、必要に応じて対応しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	3		施設内の空間を利用し、簡易的な個室の空間を作る事が出来ます。イスの活用、のれんの活用。ある資源を有効活用し、空間作りを行う。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	頻繁に意見を伝えあう機会がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	8		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	研修会参加への配慮は行われている。内部での研修にの為に時間確保が困難。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	3		R7.3までホームページにて好評予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2	インフォーマルなアセスメントについて、十分に出来ていると思う。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	立案の時間がもう少しあればなお良い。	限られた時間の中で、各職員が役割を分担しあい取り組むれるようスケジュール調整を行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	1ヶ月の中で同じプログラムが多用されないように月ごとの計画を組む際に工夫している。内容が偏りがちになってしまう。	3月よりプログラムと活動表を連動して作成し、飽きのこない、充実した活動を行う。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	6		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	11		数年前に開催した、アートフェアなど、保護者の方の交流が出来るイベントなどを行いたい。地域のコミュニティセンターなどを利用し交流を行いたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	4	7		数年前に開催した、アートフェアなど、保護者の方の交流が出来るイベントなどを行いたい。地域のコミュニティセンターなどを利用し交流を行いたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0		
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1	どの様な場合での具体的な話し合いが必要。	支援計画（案）作成時、保護者様に十分な説明を行っているが、支援計画の読み込み・確認不十分な職員の為に、支援計画会議にて、丁寧に説明を行う。